

京都教区時報

第131号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

宣教司牧評議会報告

御復活おめでとうございます



宣教司牧評議会より

教区創立50周年協力金について報告

'88年1月30日

50周年の恵みの感謝と、新しい一步を踏み出す創立記念の諸行事が、殆ど私たちの献金でまかなわれたことは、私たちにとても大きな喜びでありました。今後、私たちの教区がこの社会の中にあつて、福音の道具となり、神の御旨が実現されていきますよう、みんなで協力していきたいと願っております。

京都教区50周年記念事業決算報告

収入	50周年協力費	¥8,807,882
	寄附金	¥ 16,000
	青年大会参加費	¥ 155,000
	利息	¥ 1,143
	合 計	¥8,980,025
支出	事務局費	¥ 108,001
	行事委員会	¥1,156,070
	記念誌委員会	¥6,999,637
	資料収集委員会	¥ 454,063
	合 計	¥8,717,771
残高		¥ 262,254

〔注〕'88年度に記念誌委員会に残務整理のため
予算¥280,000を支出予定。
なお、もう少し詳しくお知らせになりたい
方は教区事務所へお問合せ下さい。

ナイスキャッチ出来ましたか

ナイスは終わった、いや始まった。ナイスボールが投げられても、ナイスキャッチするものがなくては、いくらナイスキャッチしても、いつまでもミットの中に納めておけば、相手にどんな盗塁される。司教団は直ちにそれを投げ返してこられました。今度は私達の打ち投げる番かもしれませ

ん。投げられた球がストライクか、ボールか、カーブか直球かの判定争いはしないでおきましょう。ともかく試合は始まりました。

「ともに喜びをもって生きよう」これが第1回福音宣教推進全国会議にこたえて、司教団がなされた答えでありました。みなこのラブレターを心をこめて読まれた事と思うのです。ところで、これ答えているけど問いかけています。

コンピュータに入る様な〇×式の解答に慣れた私達ですから、いつも最後のこれかあれか式の解答を求めがちですが、そんな事は望むべきではありません。それにして、もうそれ以上考えなくても良い様な解答を信仰生活においても望む性急さが近頃気になります。

ちよつとあなたも

ちよつとわたしも (8)

す。ともかく司教団としては、我々に「みなさんの熱い願いに基づいてこうします。協力下さい。」と願っているのですから、それに応えねばなりません。協力の字に隠された3つの力、3つの力を結集し、1つの心(心)を立てがんばりましょうと言っている。

3つの力って何だろう。

信徒、司祭、司教?、小教区、教区、日本の教会?、教会、家庭、学校?、修道会、小教区、教区?それとも、神、信徒、社会?、教会、地域社会、世界?等々、つまり「共に」と言っている。

何が一つに結ぶのか。

信仰?福音?希望?愛?神?喜び?.....

福音は「よろこばしい音」だから喜びがなければならぬ。喜びを伝えるものでなければならぬ。そう「ともに喜びをもって生きよう」これはまさに福音。

そう思ったとたん、私は少々、アマノジャク。少々どころか、ずいぶん。つまり「ともに喜びをもって生きよう」それでいいのかなと思う。司教団に桶つくわけではありません。次回の弁明まで、寛容で情深く判決はお待ちあれ。

必読! 今、話し合われていること

宣教司牧評議会の報告

'88年1月30日(土) 31日

'88年1月30日(土) PM 7時

I. 司教挨拶

II. 仮議長指名 越知師

1 宣教司牧評議会について経過報告

2 常任委員の任命

規約にしたがい、常任委員の互選により
奥本裕昭氏を常任委員長として選出する。

III. 30日の議事、及び報告事項

1 補助金審査委員の報告

時報132号にて補助金承認額は報告します。

2 50周年記念事業会計報告

P2で報告していただきますので参照下さい。

3 ナイスIの報告

時報特別号をご覧下さい。

4 聖パウロ学園について

村上真理雄師より説明があった。

5 東方教会省よりのお願い

聖金曜日の特別献金について

'88年1月31日(日) AM 9時

I. 「平和への歩み」について

「平和への歩み」は5年前に発足、一部の

有志ではなく教区全体が責任を持って推進

することになり、4つのグループ、諸活

動、司祭評、修女連、信徒協が1年

ごとに交替で事務局を担当することになっ

ている。

本年度は、諸活動が担当する。今後の活動

については後日報告します。

司教から教区「平和の歩み」発足の理由説明

1 毎年、元旦に教皇が平和のメッセージを

出される。今年は信教の自由についてで

あった。

2 日本の教会では、年始ではなく8月6日

から15日までの平和旬間を中心として、

平和についての学習と行動を起こそうと

している。

3 京都教区では年間を通して学習や行動を

起こすことにしている。

II. ナイスI その後の報告

代表者からの提案

1 ナイスIの答申を具体的に推進していく

チームを作っていたきたい。

2 各レベルでの養成、養成コース、養成プ

ログラムなど具体的に検討していただき

たい。

司教から日本全体の動きとしてとらえ、ナ
イス全国レベルでの3司教の推進チームから
出る推進内容とも合わせて、京都教区ではど
う推進していくか、そして小教区にはその具
体的実行の雰囲気づくりをお願いしたいとい
う答えがあった。

III. 50周年実行委員会の提案をうけて

1 資料収集委員会の設置について

特に意見はなかった。

2 なんでも相談室の設置について

設置が望まれている切実な問題であるが

内容については慎重な検討を必要とする

ので、常任委員会で検討する。その際、

小教区の実在を踏まえることをお願いし

たい。

3 青年センターの設置

活動のためのセンターなのか、情報を収

集し、それを流し返す情報センター的場

かでいろいろ意見があった。これらの意

見を踏まえて常任委員会で扱うことにな

った。

50周年実行委員会からの提案については継続

して検討することになった。

IV. アジアの教会との

交流基金(仮称)について

前回の司牧評で活発な討議の後、87年10月6

日の答申を確認した。

その結果

1 基金制度を設立することについては決定

2 基金の名称、管理、及び運営については検討する。

3 2を具体化するために設立準備委員会を作ることは、次期司牧評議会に申し送ると決定した。

そこで今回は、その設立準備委員会をどのように作るか討議した結果

1 設立準備委員会を作る。

2 委員会の構成メンバーは5名程度

50周年行事委員会より1名

既存の活動体等より 2名

司牧評議会より 1〜2名

3 設立準備委員会の役割

●アジアの教会との交流基金(仮称)委員会の構成メンバー

●管理、及び運営について検討審議する。

●参考に、すでにこの種の活動をしているグループの動きを集める。

4 次回常任委員会までに常任委員は設立準備委員会の構成メンバーの推薦を考えてくる

V. 教区優先3つの課題について

1 適正配置の問題

2 青少年信徒の問題

3 情報伝達のパイプのつまり

青少年信徒の問題、情報伝達のパイプのつまりについては皆さん充分理解していただいていると思う。

適正配置の問題については

●'82年から取り扱い、時報でも掲載している。

●具体的に社会に関わる問題についても知られていない。

●司祭の側から見た場合、10年先を考えるとかかなり深刻な状況である。

●なぜ適正配置か、経済的にも(宣教司牧の面からの)人事面からも、しかし考えると現実を見てしまうので、白紙状態で考える必要があるのではないか。

●留意すべきことは、福音宣教の立場から地域住民のことを念頭において考えるべきではないか。

時間の都合で適正配置については、次回司牧評議会でも再度取り扱う。

VI. 今年度、宣教司牧評議会開催の予定

7月9日(土)〜10日(日)

12月3日(土)〜4日(日)

▼なお、紙面の都合上要点のみ報告させていただきます。詳細は教区事務所にお問合せ下さい。



○'87年10月以降のアルフォンソ師の動き

アルフォンソ師は病氣療養中のため、'87年3月18日の第4回調査のあとの調査は保留中となっています。'88年3月11日には、保証人であるナドウ師の第2回事情聴取がおこなわれました。

今後の可能性としては、(1)アルフォンソ師の回復を待つ最終回の調査をおこなう。(2)必要な事項の聞き取りはもう終わったものとして調査を打ち切る。のどちらかをした上で「審査」の段階に移ります。「審査」とは、入国審査官が退去強制をするべき状態にあるかどうかを検討、確認することです。この段階では、入国管理事務所に身柄を収容されることでありますが、アルフォンソ師の場合は実際には収容されず即日仮放免される可能性が高くなっています。

最終的には法務大臣の裁量によって、特別在留許可か退去命令が出されます。もし退去命令が出された場合は、異議申立をして、決定のやり直しを求めることができます。

さて、昨年夏以降、カトリック関係者が何人か新たに指紋押捺拒否(留保)をしています。前にお知らせした大阪教区のシスターマリアの他に、仙台教区のロベール・ベルニエ師、新潟教区のアンリ・ホイセグムス師、浦和教区のロゲ・ルイ師、横浜教区のアンドレ・レノレ師、福岡教区のポール・マッカーテイン師などです。今後とも外国人登録法の抜本改正を求める動きに目をとめていって下さるようお願いいたします。

バンディプール小学校、中・高校の 学校用地の購入につかいます



教室と授業風景
子供たちに教える
Sr. ヴァンジェラ



’88年ウォーカソン・ネパールから喜びのたより

皆様お元気でいらつしやいますか。

ネパールではヒマラヤ連山が春霞にかすんでおぼろにしか見えないような季節になり、桃や梨の花がかわいくあちらこちらに咲く傍らには真赤なボインセアやピンクのブーゲンビリアが南国の風情を添えて、ネパールの春を味わせてくれます。

この度は京都教区の皆様をはじめ、多くの方々がウォーカソンを通じ、私達のネパールでのミッションを援助して下さいましてありがとうございます。ウォーカソンでいただいた300万円はそのまま教区長シャルマ神父に渡され、それでバンディプール小学校中、高校の学校用地(13,000坪)が購入されることになりました。

貧しい者も、豊かな者もカーストの高い者も、低い者も皆同じ教室で一つの机で隣り合って学ぶことで神様の子供としての愛と平和を体験していきます。そして日本から送られてきた絵本や文房具などによって日本の文化、世界の文化にも触れ、山の上の村の生活しか知らない子供達の目と心を開いてくれます。又、子供達だけでなく学校へ行けなかった文盲の人達のために夜学の識字教室も開かれそのために必要な費用一切が日本からの寄付によってまかなわれています。最後に、私達がネパールに滞在し、活動するためにも皆様からの援助をいただいていることを心から感謝いたします。そして主の御祝福をお祈りいたします。

ノートルダム教育修道女会
Sr. ヴァンジェラ、Sr. リディア、Sr. ミリアム



みんなの制服を作っている方です



私たちのお兄ちゃんが今度やっと入学できることになりました。



左の写真は小学校の本館です。
この3階がシスターたちの住まいです。

お知らせ

教区スケジュール

4月

3日 復活の主日

10日 伏見教会堅信式

15日 SVP理事会

25日 司祭評議会

29日 南山城地区合同運動会

三重信徒大会

▼「京都いのちの電話」

養成講座のご案内

期間 '88年5月～9月末

講座とグループ実習

'88年10月～'89年3月末

月2回の講座と電話担当研修

場所 受講決定の後連絡します

定員 50名

受講料 前期17,000円(及び

1泊研修費7,000円)

後期17,000円(資料

代1,000円)

受講資格 20歳以上の男女

申込み〆切 4月25日まで

申込み先 京都いのちの電話事務局

☎075(2555)2112

♥いかにそう信徒のカリスマを!!
信徒使徒職養成コース

各地で大好評!!

「信徒使徒職養成コース」あ
なたも参加してみましよう。

1988年度予定表

◇第70回 祈りのコース

日時 5月28日(土)～30日(月)

場所 宝塚黙想の家

◇第71回 基礎コース

日時 9月22日(木)～25日(日)

場所 桐生・フランススコ会黙想の家

◇第72回 基礎コース

日時 10月7日(金)～10日(月)

場所 野外礼拝センター(奈良)

◇第73回 典礼コースI

日時 11月18日(金)～20日(日)

場所 宝塚黙想の家

金祝

おめでとうございます

ペトロ・アロイジオ師

(カルメル修道会)

銀祝

おめでとうございます

聖母カテスキタ会姉妹

景山和子(草津幼稚園)

川村幸子(大和郡山幼稚園)

帰天

シスター・モデスタ

1月19日PM3時30分

メリノール女子学院校長、理
事長を永年されていました。
皆様お祈りお願い致します。

▼第25回召命練成会のご案内

対象 青年男女(高3も含む)

日時 6月18日～19日

場所 カトリック野外礼拝センター

奈良市朱雀4丁目3-2

☎0742(71)6031

会費 3,000円

講師 司祭、シスター、神学生

申込先

〒601 京都市中京区壬生淵田町26

聖母訪問会 Sr原田まで

☎075(821)3284

申込〆切 6月12日

主催 京都教区召命促進委員会



ナイス 何がナイス。
イイコト 何かある
ステキナ事何もない
そんな受けとめ方をされたら困る
な。私の伝え方が悪いばかり
に。せっかくの豊かな内容をこわ
しはしないか……報告会に参加す
る度、落ち込んで……。

聖霊は確かに動かされたと思います
よ。それ信じて下さい。その火に水
をかけぬ様、やさしい皆様、お願い
します。可哀想な雀より。(M・T)



=あなたの教会学校のために=

(グリーンベイに基づく教会学校教案集)

「ワークブック」

小学1年～6年 各3冊

1冊¥250円 3冊セット¥700円

「現代っ子の信仰教育」

教師用 1年～6年

★お問い合わせは京都カトリック教理センターへ